

緑布の布目方向 経, 緯, 斜, 地質を一定とし, 各々相違した条件の組み合わせのもとに72種縫製し, インストロンを用い, 玉縁孔を固定し各種デザインのボタン通過に要する力を測定, 感覚上のはめ工合と照合した。

3. A) 同一条件の孔でもボタンのデザインによって孔通過に要する力が異なる。

B) ゆとり分量が大きいと通過に要する力は小さいが緑布の布目方向, 縁幅に影響される。

C) 縁幅が広いと他の条件は一定でも通過に要する力は小さい。

D) 緑布の布目方向が斜のとき他の条件は同一でも孔通過に要する力は小さい。

今後は各要因の相関関係を求めたい。また外観上の, 地質, 孔の長さ(ボタンの大きさ)縁幅の関係について検討したい。

B-42 被服の外観と機能の問題 玉縁孔の機能性(1)

昭和女子大 鈴木キミ子

1. 婦人のコートやスーツの打ち合わせ用としての玉縁孔につき下記条件を相違させて27種縫製し, 基礎的実験を行なった結果ボタンのデザイン, その直径に加えるゆとり分量, 縁幅, 緑布の布目方向(地質の厚薄も考えられる)などの要因により, はめ工合が一樣でないことがみとめられた。これらに関し明らかでないので本実験を行なった。

2. ゆとり分量 (cm) 0.0, 0.1, 0.2, 0.3, 0.4, 0.5。

縁幅 (cm) 0.2, 0.3, 0.4, 0.5